

～目次～

【1】TKK活動

【2】加盟団体の活動

【3】行政、他団体の活動

【4】特集:この1年の活動を振り返って(TKK 加盟団体より)

— 昨年、一昨年に加盟された3団体の活動を紹介します —

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 表題の< >はシリーズ開催です —

【1】TKK活動

* *

○<2018年度「高次脳機能障害実践的アプローチ講習会」> 慈恵医大 西新橋校1号館(港区西新橋校3丁目)

第1回:5/27(日)、第2回:9/16(日)、第3回:12/9(日)、各回とも10:45~17:30

各回の内容、お申込み等は:http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=190

第1回 5月27日(日)

- ① 菅原 誠氏…東京都立中部総合精神保健福祉センター副所長、精神科医
[高次脳機能障害者の就労と復職に向けた精神科リハビリテーション]
- ② 廣實 真弓氏…帝京平成大学言語聴覚科、言語聴覚士
[高次脳機能障害のある方のコミュニケーション障害の特徴とその対応]
- ③ 中村 美恵子氏…東京中央障害年金相談センター所長、特定社会保険労務士
[高次脳機能障害の障害及び労災認定の流れとポイント]
- ④ 渡邊 修氏…東京慈恵会医科大学附属第三病院リハ科、医師
[事例検討:困難事例について会場の皆さんと討論会]

○<2018年度 TKK医療及び家族相談会>

高次脳機能障害に精通した医師と当事者を家族に持つ TKK の仲間達が、人生の再構築に向けて相談支援致します。

平成30年4月~31年2月の間に6回開催、いずれも13:30~16:30

・4・8・11月の会場:東京都心身障害者福祉センター12階会議室

・7・10月平成31年2月の会場:慈恵会医科大学付属第3病院2階会議室

詳しくは: http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=189

【2】加盟団体の活動

* *

●VIVID(ヴィヴィ)10周年記念イベント 主催:VIVID 3/10(土) 新宿区四谷地域センター

====1部は、毎年開催しているミニデいの発表会、2部はVIVIDの10年のあゆみを振り返るスライドを上映しました。

ミニデイの発表会では、ここ数年取り組んできた落語を題材としたリーディング劇と、有志による歌やダンス、食レポや旅レポなどを発表。リーディング劇は、演者それぞれの個性が落語の素材そのものとみごとに融合し、会場に笑い声が響きました。10周年として、いつもの場所を離れて演じる適度の緊張もプラスになったかもしれません。スライドで振り返ったVIVIDの10年は、多くの仲間や支援者とともに活動をつなげ、事業を起こしてきた歴史であったと再確認するものでした。写真の中に懐かしい方々の笑顔もありました。10周年記念ということで、多くの人と一緒に“これまで”を振り返ることができ、新しい事業もスタートするVIVIDの“これから”に向けた弾みとなる会となりました。====VIVID 代表 池田 敦子

●VIVID からのご案内 就労継続支援 B 型事業所 4/1 にスタートしました。

事業所名「フレッシュスタート目白」、新宿区下落合 4-20-16 ソレイユ目白 103(目白駅下車徒歩 10 分)

詳細は: http://www.vivid.or.jp/index.php?option=com_content&task=view&id=22&Itemid=31

====仕事の内容は、ショップでの販売品の手入れ、作製、新宿区の緑化事業、封入作業などです。中途障がい者を中心に、高次脳機能障がい、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がいのある方で、対象年齢は、18 歳～64 歳、手帳の有無は問いません。個々の主訴やニーズに基づいた個別支援計画を作成し、作業支援及び生活支援を行います。送迎はありません。開所:月曜日～金曜日(祝日を除く)10 時～16 時 ===== VIVID 代表 池田 敦子

●ハイリハ東京代表小澤京子さんと一緒に茶話会 主催:杜のハーモニー♪ 4/7(土) 調布市総合福祉センター

====日ごろの悩み、親亡き後の悩み、将来への不安など、親子、配偶者それぞれの家族が抱える介護者の課題について語り合いました。ハイリハ東京代表小澤京子さんは、TKK 医療及び家族相談会や杉並、世田谷でも相談員をされています。そのご経験から、どなたからの質問やお悩みにも聴く耳を持たれ、しっかりと受け止め、お答えや提案をしてくださりました。また、介護者の懇親と和やかな雰囲気をつくろうと、茶話会形式としたのですが、珈琲とお菓子は、香り豊かな珈琲を淹れる当事者でマエストロの藤原さんと奥様のあきる野「こーゆう」代表藤原みどりさんをお願いしました。代表藤原さんからも配偶者の立場からの有益な情報と体験に基づく身に沁みるアドバイスも頂きました。杜のハーモニー♪会員から、「参加して良かった」との感想が寄せられました。=====杜のハーモニー♪ 代表 伊地山 敏

○お話を聞いてみます!!! 主催:高次脳機能障害者と家族の会 4月29日(日)14:00～16:00

阿佐ヶ谷地域区民センター 2階第8集会室(杉並区阿佐谷南 1-47-17)

日頃のお困りごとなど、私たち世話人に話してみませんか?愚痴でもなんでも、お気軽に、是非いらしてください。

詳しくは: <http://kouji-kazokukai.org/bbs/20180412/675.html>

◇参加ご希望は次のメールアドレスへ。 家族会宛メール: koujinou_kazokukai@yahoo.co.jp

○バスハイク 福島県いわき市小名浜方面 主催:家族会 かつしか 5月19日(土)

====数年前より“東北地方を応援しよう”と、常磐ハワイアンセンターを皮切りに栃木出身のバスハイク担当者が、ここはどうですか?過去に行ってませんか?と色々見つけてくれます。今年は福島県いわき市小名浜方面に行きます。津波で崩壊し、いち早く再建した“アクアマリンふくしま”が見学の一部に入っています。

==== かつしか 代表 山崎 サカエ

○高次脳機能障害と囲碁&心の唄ミニコンサート 主催:フォーラム大田高次脳 5月6日(日)囲碁 9:30～。ミニコン 13:00～。

大田区障害者総合サポートセンター(さぽーとぴあ) 5階多目的ホール(大田区中央4-30-11)

出演:木谷正道と心の唄バンド ヴァイオリン奏者 高山仁志さん(高次脳機能障害者)

◇問い合わせ:栗城 Email: kurishiro@live.jp Tel: 080-5450-0052

○講演 いちごえ会6年の歩みと高次脳機能障害者の社会復帰に向けた課題 主催:いちごえ会

総会・講演会 5月19日13時15分から16時30分 小金井商工会館萌え木ホール

総会にて小金井市福祉への取り組みについて 小金井市福祉保健部自立支援課長 藤井知文氏

○失語症カフェワックル 主催:言語生活サポートセンター

5/27(日)は失語症家族ワックル、失語症のご家族をお持ちのご家族限定カフェです。6/17(日)は失語症カフェとなります。

◇問い合わせ:〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-16-14 カパラビル 1F 電話 03-6915-1877 Fax 03-6915-1878

携帯電話 080-5515-5452 E-mail naomisonoda@gengoseikatsu.com

詳しくは、下記で:HP <http://www.gengoseikatsu.com> Facebook www.facebook.com/gengoseikatsu

○講演会のご案内 主催:交通事故被害者家族ネットワーク

- ・5月20日 群馬県講習会(群馬県庁 昭和庁舎)
 - ・5月26日 山梨県講習会(JA 会館)
 - ・6月23日 栃木県講習会(とちぎリハビリテーションセンター 健康の森)
 - ・6月30日 大阪府講習会(エル大阪)
 - ・7月28日 神奈川県講習会(日本丸訓練センター)
- ◇問い合わせ:080-3154-2748(上田)

○ハイリハキッズ代表中村千穂さんと中村太一さん親子が、ポスターに掲載されました

THINK UNIBERSAL ポスターに掲載。高次脳機能障害が広く知られていくのは嬉しいことです。

THINK UNIBERSAL サイト: <http://think-universal.org/>

* (太一くんが「制作者側が考えたことばを自分が考えたように書くのは違うんじゃないか」と言い出して、考えたことばが、「忘れるから 今がある」です。)

【3】行政、他団体の活動

* *

●平成 29 年度 第 2 回支援コーディネーター全国会議・シンポジウム 主催:国リハ 2月16日、大手町サンケイプラザ

シンポジウムの中の「当事者の家族の立場から」のセッションで、いちごえ会増村代表が発表しました。

====長男の発症。2005年前の7月31日、彼は8時間耐久モトクロスレース疾走中にくも膜下出血を発症し心肺機能停止になりました。私が病院に着いた時には電気ショックの大きな傷跡があり、静かに眠っていました。11日目に意識が戻り「俺、もう一度生きられるの?」とか細い声で囁き、感動で体が震えました。病院の夏休みで床ずれ、肝炎、院内感染、高熱に襲われ体力が限界まで弱りました。45日目に院内感染が陽性のまま開頭手術を受け、くも膜下出血の治療が完了し90日目に東京のリハビリ病院、国リハを経て発症7ヶ月後に帰宅できました。2006年3月退院1ヶ月後、上田敏先生が自宅訪問、詳細に診てリハビリ計画を立てて下さり、70~80%仕事はできると云って下さいました。私は絶望から希望にスイッチオン、すべての困難を引き受ける覚悟を決めました。

命さえ助かれればいいのではない

2012年7月1日、いちごえ会設立

いちごえ会の目的は当事者が生きがいを持って働き、安心して生きることです。会員がお互いを尊重し、助け合って暮らすことを目指しています。今小金井市は障害者差別解消法市条例策定の準備中です。法の理念、条文の背景を考えて、高次脳機能障害者に寄り添って運用して欲しいと主張しています。昨年度は6回に分け「高次脳機能障害を持った君にカスタマイズした仕事の仕方を学ぼう」学習会をしました。手探りでしたが、いろんなことが見えてきました。企業の理念、障害者への理解が基本ですが、自営業もあり仲間と一緒に仕事することも可能です。「高次脳機能障害者にカスタマイズした職場を創る」を目指して上田敏先生を座長に、準備中です。 いちごえ会を育てるのは当事者と家族、会員全員です。

* 最終ゴールは施設の建設ではなく、いかに暮らすかです。助け合いです。障害とともに、仲間とともに、地域の皆さまとともに暮らしたいです。
==== いちごえ会代表 増村 幸子

●『高次脳機能障がい 当事者から伝える”再び働く”』 主催:国立市役所しようがいしゃ支援課 協力:高次脳機能障害

者と家族の会 国立市自立支援協議会しごと部会 3月16日(金) 国立市公民館

==== 当事者であるSさんは、現在40代で、育ち盛りの3人のお子さんの父親で、受傷後およそ10年。

注意障がい、記憶障がい、遂行機能障がいについて、各障害の説明紹介にとどまらず、連動している様子を、当事者の側から語られました。コーラ5本買ってきて。と頼まれたのに、ペプシ 500mlと言われたと勘違いした等、失敗例を何通りか上げられました。なるほど、こういうミスをしちゃうのは、注意が上手く働かないからか～。新しい記憶が覚えられないからか～。無意識の記憶はスルーしちゃうのか～。等。言葉で上手く言い表せない当事者たちの代弁をされました。

社会との共生の基本的な考え方としては、環境整備が必要で、当事者一人での環境調整は大変難しいです！！と本人の声。さらに、高次脳機能障害の方は、症状の軽重にかかわらず、2つのことを一度にすることは難しい。と語られました。就労定着については、次の3つの「づらい」を軽減する努力をし、10年かけて何度も振り返りをし、受容が進んだそうです。

- 1、障がいの認識をしづらい。 → 認識を促す。
- 2、障がいの受容をしづらい。 → 受容を促す。
- 3、対処しづらい。 → 自分と周囲のギャップを軽減し社会との共生を促す。

その他にも、工夫したことなど、数々の実践例を示されながら講演されました。ご自分を客観的に観る「メタ認知力」と「分析力」がとても素晴らしい。この2つの力は、高次脳機能障害ではない方々でもなかなか取得できないのではないかと感じた講演会でした。

==== 社のハーモニー♪代表 伊地山 敏

○＜平成30年度港区高次脳機能障害相談会＞ 主催:港区、港区委託事業者:TKK、協力:みなと高次脳

毎月、第3木曜日、午後1:30～4:30 会場:港区障害保健福祉センター 6階相談室(港区 芝 1-8-23 ヒューマンぷらざ内 TEL:03-5439-2511)

◇申込先:03-3578-2457 (港区障害者福祉課精神障害担当)

-----∞
【4】この1年を振り返って(TKK 加盟団体より)

* *

-----∞
■就労移行支援 レジリエンス

高次脳機能障害の方々の特性、独自性を踏まえた個別の支援プログラムを提供して、就労支援を継続しました。徐々に就労の準備性が高まって、年度中に2名の方が就労に繋がりました。また、就労には繋がりませんでしたが、職場体験実習を経験して自身の進む方向性が明確になった方が1名おります。

また、WordやExcelの資格取得に向けた学習のサポートも行い、5名の方が日商PC検定に合格しました。ワークショッププログラムにも力を入れており、様々なワークを通して、通所の安定につながり、通所平均人数は10人を超えております。

地域での活動としては国立市自立支援協議会の企画で、YMCA 医療福祉専門学校での職場体験実習を実施することができました。また、日本脳損傷者ケアリングコミュニティ学会での発表など、高次脳機能障害の理解推進の活動も行っております。高次脳機能障害の方を積極的に受け入れている就労移行支援事業所は少ないですが、それぞれの方に合った個別対応を行い、通所実績が上がっています。利用者が増えてきておりますので、個別対応は大変な面もありますが、今後も支援の質を保ち、より良いサポートができるように事業を継続していきたいです。

就労移行支援 レジリエンス 代表 蟹江 こうじ

東京都国立市中1-14-6 市野沢ビル3F TEL:042-505-6194 HP:<http://cswjapon.wixsite.com/mysite>

■一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構

当法人は、就労移行支援事業所であいとわーくと、放課後等デイサービスであいとわーくジュニアかまたアフタースクールを運営しております。働きたい、働いて人の役に立ちたい、自分の人生を充実させたいと希望する障害者に仕事をする楽しみや喜び、そして働く幸せを 結ぶ支援を行っています。

ご利用者は高次脳機能障害の方の他、身体障害、知的障害、発達障害、精神障害の方々です。

就労を目指す上で、コミュニケーションスキル・ビジネスマナーなどの習得がとても大切なことだと思いますが、でらいとわーくでは、事務業務の想定として SST を取り入れ、且つ、前頭前野の活性を目的に自学自習の個別学習を導入しております。そのプログラムを通じて自己肯定感・積極性を養い、達成感と充実感を体感します。

個別支援学習では、スピードと正確性が必要とされます。学習時間内で自らが設定した目標(企画 plan)のプリント教材を完成(実行 do)させ、しかも 100 点を目指します。採点(評価 check))を通じて、学習状況の観察、好ましい変化を見つけて(改善(action))才能の発見を行い、100 点をとるまで繰り返します(cycle)。手順やルールに従って学習することで、社内のルールや働く態度の醸成を目的にしております。

思考力・集中力・継続力を毎日行う事で達成できた時の喜び、充実感、自己肯定感が養われ、新たな才能の発見が出来ると思っています。また、就職活動・仕事に於いても、継続する事、諦めないことの重要性に、この学習が繋がると考えます。自己肯定感を得るためには、「他者から認められたい」「必要とされたい」「自分の能力を引き出した活動がしたい」ことの三つが重要ではないかと私たちでらいとわーくは考えます。

「存在を認められたい」、「存在を必要とされたい」「自分自身が選択して活動したい」、「能力をみとめられたい」、「能力を必要とされたい」「能力を生かした活動したい」それを体得して、自分に自信を持つ機会になるプログラムの一つが、でらいとわーくの個別支援学習だと信じています。学習から読解力がつき、字を書き、文字を書く。そして計算力がつく。

仕事をするうえで役に立つことはもちろんの事です、学習により、出来る事が増えて、それが学ぶよろこびとなり、働くよろこびにつながるとわたくしたちは信じています。

学習を通じて、考える・集中する・継続する。そして、達成感を体得することで仕事をしていく源になっていくはずで、この力はさらに自己肯定感につながっていくと信じております。

一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 代表 林尻 悟
就労移行支援事業所 でらいとわーく、相談支援事業所 でらいとさぽーと
東京都大田区蒲田 5-30-15 第 20 下川ビル 4F、03-6428-6744 、e-mail:jiri@jiritsu-shien.org
HP:<http://jiritsu-shien.org/delight.html> FB: www.facebook.com/delightwork

■練馬高次脳機能障害者支援協議会

平成 29 年 7 月に『練馬高次脳機能障害者支援協議会』を発足しました。

練馬区には過去 7 年間で障害福祉サービスにおける「HiBDy.Tokyo(入所自立訓練)」と「だんだん(通所自立訓練)」などの事業が開始され、回復期病院が 2 ヶ所開設され、高次脳機能障害者を支援する社会資源が充実してきました。

また、平成 20 年には「高次脳機能障害関係者連絡会」が発足。平成 21 年に「ねりま高次脳機能障害者・家族と支援者の会」が発足し、区に対して支援具体化の陳情等が行われてきました。高次脳機能障害者を対象とする「だんだん」はこうした陳情が具現化されたものです。

われわれ『練馬高次脳機能障害者支援協議会』はこうした取り組みや社会資源の充実を踏まえ、よりいっそう医療・福祉・介護・インフォーマル資源の垣根を越えてネットワークを構築させ、また家族会の発展をサポートしていくことを目的として設立しました。最近の活動としては今年 2 月に練馬区介護サービス事業者連絡協議会(事連協)通所部門等と共催の事例検討会を開催しました。

まだ設立されたばかりで、TKK 加盟団体の中では一番新しい会です。皆様のご理解を得て発展していきたいと考えております。ご協力よろしく申し上げます。

練馬高次脳機能障害者支援協議会 会長 相良宏司
e-mail:nozomi0806@clock.ocn.ne.jp (事務局：中村紀雄)

以上